

## 2022年 ジャッジ講習会記録

日時:2022年3月27日 9:00~12:00 場所:千葉県野田市 クリアビューホテル

2022年版 FAI スポーティングコードより 解説:FAI・CIAM委員 宮本 直也 氏

中四国選手会 河村、近藤

グリーンブック 部NO	項目	前回のルール	今回のルール
5. 1. 2. f)	騒音測定	機体検査の一部として全機行われる	過半数のジャッジが飛行中の音のレベルが大きすぎると考えた場合にのみ飛行後に行う
5. 1. 9. e)	千分率	ラウンドの上位半数の平均得点を1000点とする	ラウンドの最高得点者を1000点とする (以前の方法に戻った)
5B. 3	演技の実行	審査の比率が決められていた 1. 演技図形の正確性(重要度 約60%) 2. 演技の円滑性、および優美性(重要度 約20%) 3. 演技空域内における演技の位置(重要度 約10%) 4. 演技の大きさ(重要度 約10%) 5. 演技空域外で演技された場合(上記に加え)	審査の比率が無くなり、『一定の飛行速度』が追加された 演技図形の正確性(幾何学的精度) 一定の飛行速度 演技空域内における演技の位置(操縦ゾーン内の正しい配置) 演技の大きさ(操縦ゾーンのサイズに一致するサイズ)
5B. 8. 4.	宙返り		部分宙返りの半径は、きつすぎたり(G負荷が非常に高い)緩すぎたり(部分宙返り間の直線が明確に認識できない)してはならない。部分宙返りがきつすぎたり緩すぎたりする場合は、最大1点を減点する。
5B. 8. 5.	ロール	部分ロール=一回転未満のロール 1つの演技の中で、1回転以上のロールが複数含まれる場合、それらのロールレートは同一でなければならない。 1つの演技の中に部分ロールが複数含まれる場合、それらのロールレートは同一でなければならない。 1つの演技の中に1回転以上のロールと部分ロールがある場合、1回転以上のロールと部分ロールのロールレートは一致する必要はない。	前回に加え、以下が追加された 連続ロール=360度以上 パートロール=360度未満 1つの演技の中で、演技が進むにつれて、ジャッジは飛行したばかりの各連続ロールまたはパートロールのロールレートを、直前に飛行した連続ロールまたはパートロールのロールレートと比較し、違いがある場合、違いの重大度に基づいて減点する。

5B. 8. 7.	スナップ・ロール	スナップロールの開始は、模型が自転を開始する前に、胴体の姿勢と飛行経路とが明確に分離、失速状態になったことを示さなければならない。スナップ・ロール演技中は失速状態を維持しなければならない。もしこの失速／分離が起こらずバレル・ロールの状態でも回った場合、厳しく減点する(5点以上の減点)。同じようにスナップ・ロールに見せかけた軸ロールの場合、厳しく減点する(5点以上の減点)	前回と同じであるが、スナップ・ロールに入る直前の胴体の姿勢変化はピッチだけでは無く、ヨーについても要求される。との解説あり。
5B. 9.	一定した飛行速度		模型は、演技全体で一定の飛行速度を維持する必要がある。例えば、上昇部分と降下部分。有意差がある場合は、最大1点を減点する。
5B. 11.	演技の大きさ	演技の大きさの採点は、演技の大きさと飛行演技区域に対する関係の調和、およびスケジュール全体の他演技の大きさとの関係である。	前回に加えて・・・ 大きさが不適切な場合、最大1点を減点する。
失速演技で風に流された場合の解説		『失速中に風に流された場合は減点しない』は従来から変わらない。P23.13 のクロス・ボックス・フィギュア・M・ウィズ・3/4ロールズ で『ストールターン時に風に流された場合は減点しないが、センターズレについては減点する』との解説があった。	
BOX演技の距離について		通常は175m以上離れて飛行した場合少なくとも1点減点、200m以上離れて飛行した場合2～3点の減点とあるが、P23.13 のクロス・ボックス・フィギュア・M・ウィズ・3/4ロールズ で、遠くに出した場合は、『過度に遠くなければ減点しない』との解説。	